

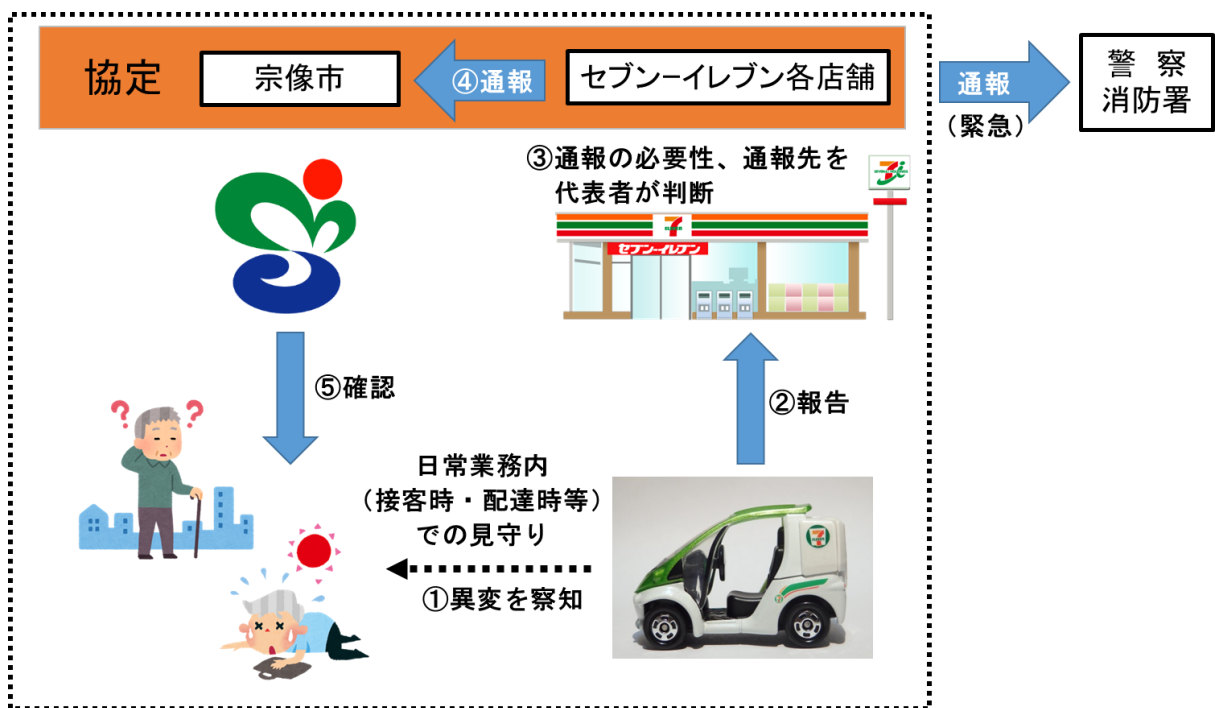
宗像市高齢者見守りネットワーク事業とは

ひとり暮らしの高齢者等が安心して生活するためには、地域における見守り活動が重要です。この見守り活動は、複数の人に協力してもらい複数の網(ネット)をかけることで、より効果的なものとなります。

宗像市では、市内の事業者等が日常業務を通じてひとり暮らしの高齢者等の異変を察した場合に、市へ通報する活動を「高齢者見守りネットワーク事業」として取り組んでいます。

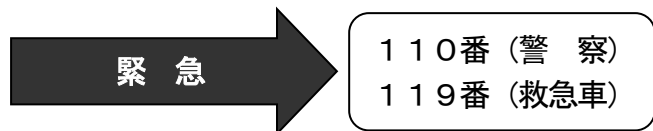
今回は、市内のセブン-イレブン・ジャパンの店舗がこの活動を実施します。

セブン-イレブン・ジャパン店舗による見守りの体制

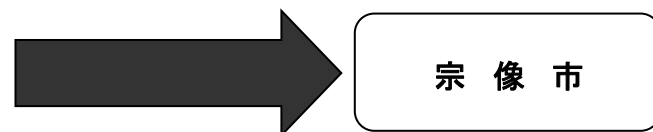


異変を察知した時の通報先

- ・人が倒れている！
- ・高齢者が徘徊している！
- ・異臭がして、明らかに様子が変！



- ・いつもと違い、何か気になる…。
 - ・新聞や郵便物等がたまっている。
- 独居高齢者だし、安否を確認してほしい。



セブン-イレブン・ジャパン店舗の役割

日常業務の中で、お客様等に関して何らかの異変を察知した場合に市へ通報します。

(1) 異変を察知するポイント

屋外から確認できる次のようなサインに注意を払います。

- ・新聞や郵便物が何日もたまっている
- ・カーテンが何日も閉まったまま（開いたまま）
- ・洗濯物を何日も干したまま（干されていない） など

※家の中をのぞく、洗濯物に近づくなど、相手が不快に感じる行為はトラブルの原因になります。見守りはさりげなく。

(2) 通報はセブン-イレブン・ジャパン各店舗の判断で

異変を察知した店員等は、店舗に報告します。

店舗は、把握している顧客等の情報などから通報が必要かどうかを判断し、市の窓口へ通報します。

- ・お客様から長期不在の連絡が入っている
- ・同居者の有無、高齢者の世帯
- ・旅行などで不在にすることが多い など

(3) 店舗は責任を負いません

異変を察知できなかったことに対して、店舗が責任を負うことはありません。

宗像市の役割

店舗から通報を受けたら、速やかに確認し、対象者の状況に必要な応じた支援を行います。

(1) 安否確認の方法

安否確認は地域の実情に応じた方法で行います。

- ・市又は市社会福祉協議会の職員が訪問
- ・民生委員や自治会を通して確認
- ・住民が事前に登録した「緊急連絡先」に確認 など

(2) 個人情報は提供しません

「見守り対象者名簿」などの個人情報を店舗へ提供することはありません。